

特集

NPOをまわす運営術その② 情報編

NPOの知りたい情報を  
発信・受信

- ちょっと気になる、いしかわのNPO  
NPO法人 PLUS
- いしかわのNPO  
あぢさいなかま  
ももたろう倶楽部
- ジュニアVOICE  
中島高等学校

シリーズ 協働をすすめる ワークショップ入門②  
『お互いに知り合う』

- 書籍紹介コーナー
- インフォメーション  
・ 県からのお知らせ  
・ ボランティア情報  
・ 助成金ニュース

つながる、  
ひろがる、  
ふれあう。

# NPOの知りたい情報を 発信・受信

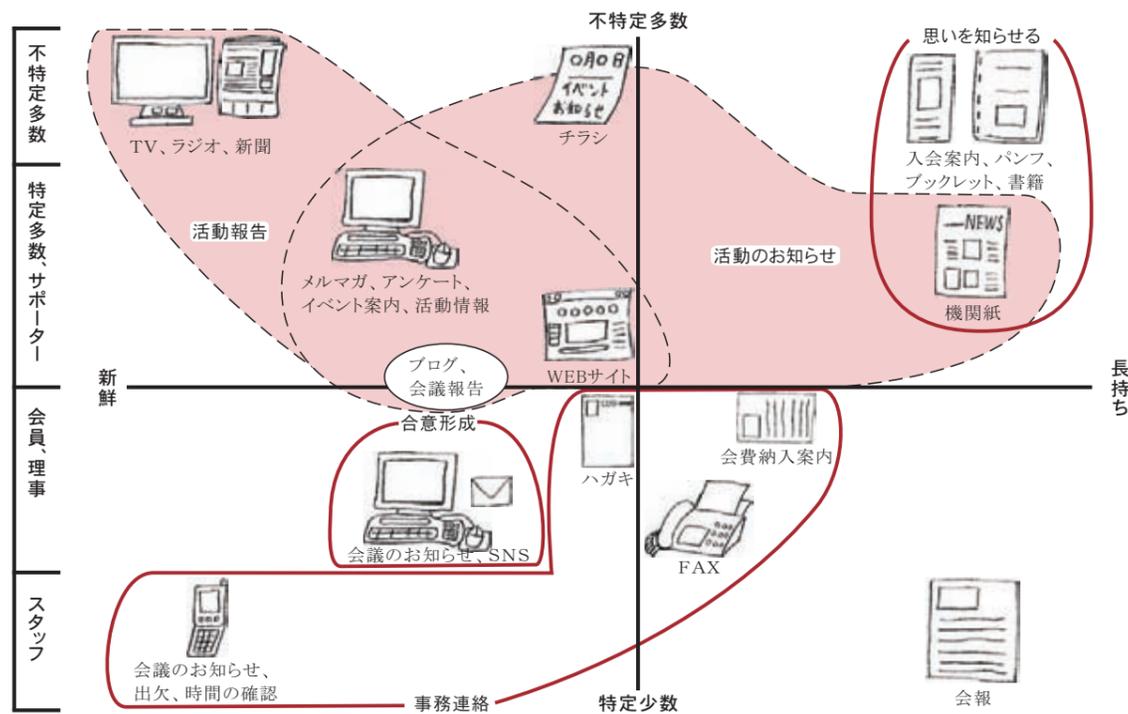


今回は、NPOをまわす運営術その②「情報編」です。

みなさんはどのようにNPOの運営についての情報を得て、どの媒体を通して自分たちの活動を伝えていきますか？編集委員会では、NPOについての情報を知りたい時、どこで、どのように探せば自分が知りたい情報が得られるか、誰かに情報を伝えたい時、どの媒体を通すと効果的に伝わるか、について話し合いました。

## 発信のコツ

誰に何を伝える？  
伝えたい相手に届くメッセージに加工しよう  
適したツールを選ぼう



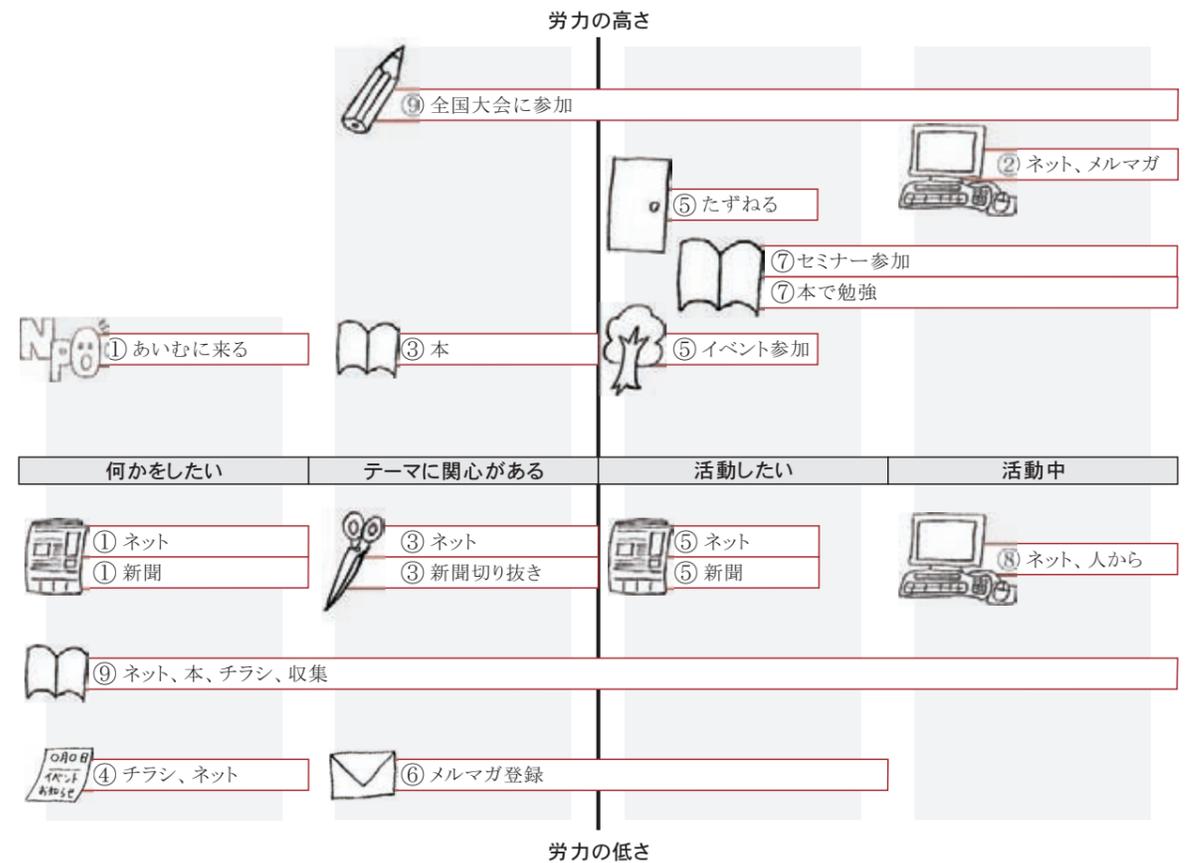
- 〈合意形成には〉
  - ・会議の他、SNS(ソーシャル・ネット・ワーキング・サービス)や、メーリングリスト等の活用で、素早いやり取りができる
- 〈活動のお知らせ、活動報告には〉
  - ・新聞、テレビの取材希望はFAX等で事前に依頼をする
  - ・自分たちのWEBサイトにのせるには早めに
  - ・ブログがあると更新が手軽
  - ・効果的なチャランを作ろう(タイトルの付け方、日時、場所を分かりやすく)

- 〈事務連絡には〉
  - ・日々の会議などの出欠確認はケータイやメール、FAXでスピーディーに
  - ・総会や会費納入案内は郵送が安心確実
  - ・メール便なら集荷もしてくれる
- 〈思いを知らせるには〉
  - ・誰が読んでも分かりやすい入会案内や団体パンフレット
  - ・第三者の意見をもらうのもGood!
  - ・機関紙で旬な話題を提供しよう
  - ・定期的な発行がベター

## 受信のコツ

私にとって欲しい情報  
どんな活動(NPO)があるか調べる  
助成金を知りたい  
感心のあるテーマの情報を知る  
空いている日のイベント探し、会場探し  
私ができる(参画する)NPOがあるか調べる

全国(地域)あゆる情報が入る  
団体運営のための専門知識を知りたい  
講師を探す  
活動の参考事例



## どこで知りたい情報を探す？ここ見て ●ここ来て

- 〈メルマガ〉
  - ・NPOWEB (NPO法人シーズ)
  - ・あいむ通信(石川県NPO活動支援センター)
  - ・WEBサイトで関心のあるNPOメールマガジンを検索する
- 〈チャラン〉
  - ・あいむ・iねっと・小松NPOセンター・わくわくネット・はくい・七尾市民活動プラチセンター
- 〈NPO運営に関する書籍〉
  - ・あいむ
- 〈各種新聞〉
  - ・あいむ
  - ※4紙の切り抜きあります
- 〈訪ねる〉
  - ・NPO情報は(チャラン)に出た各センターへ
  - ・福祉関係は各市町社会福祉協議会へ



情報は鮮度が命

●**青海** 誰に何を伝えるかで発信するツール(道具、媒体)を選ばないと、伝えたいことがうまく伝わらなくて誤解されたりするよね。

こうやってマトリックス図を見ると、紙媒体、パンフレットや会報は長持ちする情報で、機械の媒体、パソコンやTVなんかは鮮度が良いんだね。これからの時代、情報は鮮度が命。旬な情報を発信、受信していかなくちゃね。

●**森山** まず、発信の話からしていこうか。機関紙はその団体が何を指してどんな活動をしているかというのを伝えるとても大事なツールだよ。

●**福多** うん、機関紙はマメに出したほうがいいね、総会がうまくいきやすいから。

●**森山** 会報などを郵便で発送するとき荷物が多いのならメール便が金銭的にお得だよ。荷物が多いと集荷もしてくれるし。

●**福多** ただし遠いところに発送するときは日数がかかることがあるから、そこらへんも考えて送らないといけないね。

●**青海** あとブログで情報を発信している人は長い文章を書くのではなく、改行したら左に寄せて合わせると読みやすい。HPだったら文字だけでなくデータや写真を入れると良いね。

●**森山** 最近HPとブログを連動させるのが多いね。表紙だけHPでブログの更新内容をのせるタイプ。

●**福多** うん、ブログのほうが更新が手軽だしね。

●**森山** あとメールリクエスト(複数の人と電子メールでやり取りをする仕組みのこと)はヤフー、グーグルで簡単にできるし。あとSNSでNPOのコミュニティーを作ったりするとボランティアスタッフ達と連絡を取り合いやすいよね。あと新聞に活動報告を取り上げてもらう時は事前に報道各社に依頼をFAXで出さなくちゃいけないよ。



●**福多** 受信の話もしましょう。どうしても欲しい情報だったら労力もお金を出してでも得たいと思うけど、用事をしているついでに得られる、あまり労力を使わなくても得られる情報もあるよね。このマトリックス図でいうと「④空いている日のイベント探し」はあいむへ用事があつたときとかにそれ関係のチラシをバースと持って行ったりすればいいわけだからそんなに労力はいらなかったりする。

●**青海** 全国大会の説明もしないとね。自分にとって関心があるフォーラムだったり、ワークショップのことで、〈メルマガ〉に登録するといつどこでどんなことをやるのかという情報がメールで入ってくる。

●**森山** 全国大会に参加をするとすごい良い情報が得られるよ。自分が運営しているNPOと似ているNPOがどんな活動をやっているのかがよく分かる。登録するメルマガによって助成金情報が充実してたり、自分に関心のある情報をくれるメルマガが色々あるからそれぞれ自分にあったメルマガ登録するのがオススメだよ。

●**森山** このマトリックス図をみて自分は今の状態にいるか、何をしたいのかを見れば、ぱっと分かるものにしなくちゃいけないと思って話し合ったから。みんなうまく活用して欲しいな。

●**福多** 情報発信、受信はやってみないと分からないことだらけ。ぜひみんなこれらを参考に活動して欲しい。

次回の「特集」NPOをまわす運営術 その③は、物編です。

みなさんが資金源としている物販やイベントに関して、工夫やアイデア、カタログ等をお寄せください。誌面を通して紹介したいと思います。

送り先  
〒920-0962  
金沢市広坂 2-1-1 広坂庁舎4F  
石川県NPO活動支援センター(担当:長谷川)  
mail:npo@pref.ishikawa.lg.jp

編集委員会



青海 康男



森山 奈美



福多 唯

NPO法人 PLUS(プラス) 『婚活事業 みんなでハッピー』

結婚したい人、あつまれ〜〜!

「2年くらい前から「婚活」という言葉をよく耳にするようになり、今ではすっかり定着した言葉となっていると思います。私たちの団体にも1日1回は問い合わせが来るんです。」と話す齋藤一也代表理事。

最初は金沢市が「クローバープロジェクト」という名前で主催をしていたお見合い事業でした。そこからNPO法人PLUS(プラス)になりお見合いパーティーを企画、運営することになりました。男女100名の大きな集まりのパーティーと、少人数10対10で開催する小さなパーティーをどちらも年2回ずつ開催しています。パーティーはまず、男女お互いの自己紹介から始まり、楽しくゲームをして気に入った人の名前をカードに書きます。気に入った人の名前がお互い一致したら別室に移り、二人で歓談します。そしてフリータイムを経て、パーティー終盤に意中の人の名前をカードに記入します。書いた名前がお互い一致したらカップル成立です。毎回、集まった人数の約1割の確立でカップルが成立します。

リピーターも多く、毎回同じゲームでは参加者が飽きると思い、ボランティアスタッフと打ち合わせをして毎回違うゲームを考えます。参加者の方にアンケートの協力をお願いしているので毎回「次はこうしよう、ああしよう」とスタッフと話し合いをします。

パーティーに参加した方がボランティアスタッフの仕事を見て「ボランティアスタッフの仕事をやってみよう」と申請してきたりもします。スタッフがゲーム進行や案内をしているのを見て、楽しそう、やりがいがあると感じたのでしょう。こちらとしても嬉しいことなので歓迎しています。



▲お見合いパーティー風景



人と人とのつながりを大切にしたい

PLUSは婚活だけではなく、そのほかに町おこし事業も行っています。町おこし事業では地域活性を目指し、商店街組合の青年部の方と協力しています。

また環境イベントも模索中で、これはまだ構想段階なのですが、婚活と海岸清掃を合体させる事業を考えています。普通の婚活はみんなでご飯を食べておしゃべりしてお互いを知り合うイベントなのですが、今考えているのはみんなで協力しながら海岸を掃除し、終わったらみんなで身体を休めつつ、ご飯を食べるというイベントです。いつものパーティーと違い、お互い素の部分を見せ合えるという点と、海岸もきれいになるというおもしろい企画です。

「自分たちさえよければいいという考えではなく、社会貢献をすることで、地球環境問題や、少子化問題、地域活性化問題などについてみんなで考えていきたいと思っています。」と齋藤さんは雄弁に語ってくれました。



NPO法人 PLUS▶  
代表理事の齋藤さん

〒920-0024 石川県金沢市大豆田本町甲534  
NPO法人 PLUS  
TEL/FAX: 076-234-1177  
E-mail: saitou@plus-npo.org

## あぢさいなかま

〒920-0865 金沢市長町3-9-25  
(080-1488-0236 吉村)10時から18時開館 水曜日休  
長町集真藍工房  
<http://homepage3.nifty.com/tochi/azisaikoubou/kanazawamatiya.html>

### 設立の経緯

平木の農家だった家を大正期に移築し、吹き抜けの部屋を設計事務所としていたが、この25年間は空き家でした。昨年「金澤町家再生活用モデル事業」に採用されたのを機にあじさいの語源“集真藍”にちなんで「あぢさいなかま」を結成した。家主自身に障がいがあり、長年若い人たちがこの家に下宿し、育てて行かれたので、障がいのある人・若い人の支援を考えています。

### 活動の内容

バリアフリーに改修された長町集真藍工房を、人々が集い交流できる場として、藍の生葉を使った染め・書道・篆刻・陶芸等の体験工房



▲工房前に繁った蓼藍と生葉染

や、ギャラリーとしての活用を進めています。元下宿人の鶴飼信彦氏の写真展で幕を開け、「しあわせの13粒」原画展と続き、今は常設展として、里みちこ詩はがき展を開催しています。里さんからは、5月にあじさいの詩をお祝いに送って頂き、来年は詩がたりなどを予定しています。

また、今年度の金沢ゆめまちづくり活動支援事業に“バリアフリー再生町家を利用した障がいのある人との交流をめざす体験”としてのイベントが採択されています。

地域全員に開かれたくつろげる場としての活用を目指していて、工房のHPがあります。

代表者 宮岸佑一



▼目を惹く正面の腰瓦



## 新刊・おすすめ図書

紹介



コーナー



### 福祉NPOの社会学

著者：安立清史  
発行：東京大学出版会  
価格：5985円  
初版：2008年2月

高齢化で福祉や介護の必要が拡大する現代日本社会、福祉NPOが果たす役割は大きい。福祉NPOはどのような機能や役割をもっているのか。市民たちの自発的な福祉事業が社会をどう変えていくのか。アメリカの事例とも比較しながら、これからの福祉社会を考察する。

## ももたろう倶楽部

<http://www.jouhoku.jp/mo2taroclub/>

▼米粉で作ったバンケーキ



### 設立の経緯

「ももたろう倶楽部」は、1998年9月に結成された食物アレルギーの子を持つ親の会です。現在約140世帯が会員登録し、10人程の役員で運営しています。結成当時の20年前の状況と比べると、食物アレルギーは周囲に認知されインターネットや本等で簡単に情報が得られるようになりました。しかし、お母さんたちが思ってもいなかったわが子の食物アレルギーの告知に診察室で涙したり、日々の食事や体調管理に戸惑いひとり悩んでいる姿は変わりません。

食物アレルギーを体験するからこそ気づいた「食」の大切さを、前向きな活動に生かしています。

### 活動の内容

主な活動は、イベント、機関誌(年4回)の発行、講演会等の情報交換です。食物アレルギーの子ども達は外食もままならず、旅行も安心してできません。そこで会員が除去食を持ち寄ったクリスマス会、県内一泊旅行、五大除去料理教室等のほか、幼稚園、保育園、小学校の入園入学の心配を先輩ママがアドバイスするピーチサークル(年2回)、ママたちが気軽におしゃべりを楽しむ「ももサロン」など、気がつくと毎月！なんらかの行事を行っています。

昨年は20周年パーティー(もちろん除去食対応)を市内有名ホテルの協力を得て開催しました。また、今年の3月には食物アレルギーっ子の受け入れを島全体で進めている久米島へのツアーも催行。これからも食物アレルギーだからこそ楽しめる活動を続けていきたいと思っています。



▲久米島ツアー

設立から7年目を迎え、新たな一歩を踏み出した日本で初めて「クニづくり」を目指すNPO。発足当初からの歴史の聞き書きをはじめ、内部で起こった問題、行政との関わりやジレンマなど、スタッフの目線からつづった6年間とその次にくるもの。



未来への卵  
—新しいクニのかたち—  
かみえちご山里ファン倶楽部の軌跡  
著者：NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部  
発行：かみえちご地域資源機構株式会社  
価格：3000円(税別)  
初版：2008年4月



### ここからはじめるNPOの会計・税務

著者：松原明、水口剛、赤塚和俊  
発行：株式会社ぎょうせい  
価格：2100円  
初版：2008年5月

2008年度の税制改正の内容も織り込み、1項目を見開き2ページで解説しています。「会計の専門家でない人が、多忙な業務のあい間に読むことができ、すぐに実務に生かせるもの」との願いから生まれたのが本書です。NPOの会計や実務は難しいものではありません。NPOに携わるすべての人の必読書です。

協働は、理念だけでは進まない。だったら協働のプロセスを体験できるワークショップで「プチ協働」してみてもいい？ このシリーズでは、人と人との出会いから協働での目的達成までを学ぶセミナーについて、具体的に紹介します。

このワークショップは「協働と出会う」ために行います。ですが、広報ではそれを前面に出さないほうがいいかもしれません。私たちが行った際は『わたしとあなた、みんなでコラボン?! こんなこといいな できたらいいな』というタイトルにしました。ここでは、既に広報を終え、参加者が20人ほど集まったという前提で、第1回の進行をおおまかに以下にご紹介します。

会場セッティングは椅子だけで輪になるか、車座で始めます。

<必要な準備物>

- (1) 用紙1 (下のイラスト参照)
- (2) 用紙2 (メモ用紙など。参加者人数の3倍ほどの枚数があると安心)
- (3) お茶や簡単なおかし (場を和やかにする有能アイテム!)
- (4) タイマー、鉛筆、名札など、ワークショップに必要なもの



(用紙1)

出会いからはじめる協働体験セミナー コラボン ~自分を知る、相手を知る~ (用紙 2)

お名前

年齢 (約) 才

学生時代に打ち込んだこと

興味

自分を知りたいこと

憧れの休日の過ごし方

特技

最近ハマっていること

得意なこと

座右の紙

「こんなこといいな できたらいいな」と思うこと

「どうでもいいけど、これっておかしくない？」と思うこと

「から連絡することは？」

ワークショップのすすめかた

すること	所要時間 (経過時間)	内 容	ねらい、備考
① オリエンテーションと自己紹介 	20分 (20分)	(1) 主催者から参加者へ挨拶 (2) 進行役から講座の概要と今日のおおまかな進行予定を伝達 (3) 全員で自己紹介(スタッフも)以下を言う ・名前・住んでいる町名(他「好きな食べ物」「1千万円当たったら?」など)	・(自己紹介)では仕事や肩書きについては述べないで。普段の役割や肩書きから離れ、素の自分になろう。 ・初回は固くなりがち。素の自分になりやすい項目を自己紹介に入れよう。
② <自分を知る> 用紙に記入 	15分 (35分)	各自、自分のことを用紙1に記入する ・趣味、特技、学生時代に打ち込んだこと、最近ハマっていること、座右の銘、憧れの休日の過ごし方、「こんなことできたら」と思うこと、無人島にひとつだけ持っていくとしたら?」などなど	・お茶やお菓子を添えて気軽に。 ・周りとのおしゃべりOK。 ・全部埋めなくてもOK。 ・予め項目や記入スペースを作った専用用紙(用紙1)を使う。
③ <自分語る・相手を知る> 記入したワーク用紙を基に交流する 	60分 (95分)	(1) 2~3人組みで、互いの紙を見せ合いながら交流。交流して自分の用紙に書き足したくなるがあれば随時書き足す。15分程度。 (2) グループの再結成。今回は4人組み。20分程度。 (3) グループの再結成。6~8人組み。25分程度。	・交流した人の特徴などメモ用紙に書いて覚える。 ・少人数から徐々に大人数での交流に慣れていく。 グループ結成には時間がかかる。進行役は予めグループ結成の方法を考えておこう。
休憩	5分(100分)		省略可
④ ふりかえり 	15分 (115分)	今日の振り返り。開始時のように全員輪になる。ひとりひとことずつ気づきを話す。 ・『自分』について改めて実感したこと ・今日の出会いで良かったこと ・「もしかしたらこんなことができそうかな」と感じる事など	・その場の人数に応じて、おおまかに『ひとり〇分ずつくらいでお願いします。』とする。 ・話を手短かに区切ることが苦手な人もいる。タイマーを活用しよう。
⑤ 次回に向けてのアナウンス 	5分 (120分)	次回のおおまかな予定(日時、内容)と、持ち物(今日記入した用紙)について伝え、再来を促し、今日の参加のお礼を伝える。	・「皆さんと交流できて有意義な2時間になりました」「一緒に何ができるか、次回の話し合いが楽しみです。」気持ちを伝えながらの呼びかけを。

# INFORMATION

## 県からのお知らせ

### 「NPOだるま落としセミナーin金沢」

NPOの立ち上げ、運営に関する基礎知識を習得する「だるま落としセミナー」を開催します。

また、セミナー開催日を除く毎週水曜の夜は、なんでも相談できる「NPOサロン」を開設しています。

#### ●NPOだるま落としセミナー

平成21年10月24日(土) 15:00～17:00 NPOの税務

平成21年11月25日(水) 19:00～21:00 NPOの登記と労務

平成21年12月2日(水) 19:00～21:00 資金づくりと助成金

平成22年1月23日(土) 15:00～17:00 NPO会計ソフト

・参加無料

・各セミナー定員20名程度

#### ●NPOサロン

NPOに関する具体的な個別相談を行っています。

平成22年3月まで(毎週水曜日 18:30～21:00)

※NPOだるま落としセミナー開催日を除きます。

・相談料 無料

・会場 石川県NPO活動支援センター

金沢市広坂2-1-1広坂庁舎4階

お問い合わせ先

NPO法人いしかわ市民活動ネットワーク  
ワーキングセンター(いーねっと)

〒920-0865 石川県金沢市長町1-3-40  
TEL 076-232-6673 FAX 076-232-6674  
mail mail@ishikawanpo-net.jp

## ボランティア情報

### 青年海外協力隊&シニア海外ボランティア募集のご案内

生活費、往復渡航費などは支給されます。事前語学研修もありますので語学力に自信のない方もチャレンジできます！

・募集期間:10月1日から11月9日

・募集職種:医療・福祉、教育・文化、スポーツ、農林水産、計画行政分野等120職種

・派遣国:アフリカ、中南米、アジアなど約80カ国

・募集期間中はOB&OGの体験談が聞ける説明会を下記のとおり実施します。

青年海外協力隊(20歳～39歳対象)

10月7日(水) 野々市町役場横カメリア 19:00～21:00

10月10日(土) 石川県立生涯学習センター 14:00～16:00

10月18日(日) 石川県地場産業振興センター 14:00～16:00

10月29日(木) 金沢勤労者プラザ 18:30～20:30

シニア海外ボランティア(40歳～69歳対象)

10月10日(土) 石川県立生涯学習センター 10:30～12:30

10月18日(日) 石川県地場産業振興センター 10:30～12:30

お問い合わせ先

(財)石川県国際交流協会内 JICAデスク 松井  
〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-3 リファール3F  
TEL:076-262-5932 FAX:076-222-5932  
mail: jicadpd-desk-ishikawaken@jica.go.jp

## 助成金ニュース

### ボランティアに関する講習会等助成事業

#### ●助成対象事業

下記の要件を満たすボランティアに関する講習会等。

・県内のボランティアグループ等が主催するもの。

・ボランティア精神の普及や団体等におけるボランティア活動の充実、発展に寄与するもの。

・10人以上の参加者が見込まれるもの。

・参加者から参加費を徴収しないもの。また、徴収金額が必要最小限と認められるもの。

・政治活動や宗教活動を目的としないもの。

・不当な参加資格を設けていないもの。

#### ●助成対象経費

講習会等において指導等を行う外部講師(団体の構成員等ではないということです。)の謝金及び交通費

#### ●助成金対象額

講師謝金については原則として石川県の予算単価に準じた額、交通費については実費相当額とし、助成金の総額は5万円以内

#### ●助成金の交付

予算の範囲内で行います。また、同一事業年度内においては、1団体1回限りとします。

#### ●助成金の交付申請

所定の申請書に必要書類を添付し提出します。

※この助成金を受ける際は、必ず事前相談を行うこと。

※その他、詳細については下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

(財)石川県県民ボランティアセンター  
事務局(担当:湊)  
〒920-8580 石川県金沢市広坂2-1-1  
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559  
URL: http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/index.html



## 環境保全プロジェクト助成

#### ●助成対象事業

・国内において、自然保護・環境教育・リサイクル等の分野で実践的活動を行うもの。

・2009年度中に開始される予定のもの。(既に開始されているものも可)

・継続性、発展性を持つプロジェクトであり、その成果が公益のために貢献するもの。

#### ●助成対象団体

NPO法人もしくは任意団体として、環境保全活動の実績が2年以上。

#### ●助成額

上限30万円

#### ●応募受付期間

平成21年9月1日～平成21年10月31日

お問い合わせ先

(財)損保ジャパン環境財団  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
TEL 03-3349-4614 FAX 03-3348-8140  
http://www.sjef.org/

## 年賀寄附金配分事業

#### ●申請できる法人

以下の団体が助成申請できます。

(1) 社会福祉法人

(2) 更生保護法人

(3) 特例民法法人等

(4) 特定非営利活動法人 1年以上経過

申請は申請目的に係る事業を所管する県知事の意見書の添付が政令により求められています。従って申請にあたっては意見書を入手する必要があります。

#### ●申請できる事業分野

対象の事業分野は「お年玉付郵便葉書等に関する法律」により10の分野に定められています。団体は定款又は寄附行為に基づいて行うこれらの事業につき配分申請ができます。

(1) 社会福祉の増進を目的とする事業

(2) 風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業

(3) がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業

(4) 原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業

(5) 交通事故の発生若しくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業

(6) 文化財の保護を行う事業

(7) 青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業

(8) 健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業

(9) 開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業

(10) 地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう。)を図るために行う事業

#### ●対象事業

(1) 活動(一般プログラムあるいはチャレンジプログラム)

(2) 施設改修

(3) 機器購入

(4) 車両購入(環境対応車)

一般プログラムは申請額50～500万円、チャレンジプログラムは50万円まで。(4年連続可能)施設改修、機器購入、車両購入は500万円まで。

#### ●応募受付期間

平成21年年10月1日～平成21年11月30日

お問い合わせ先

郵便事業株式会社 年賀寄附金事務局  
〒100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2  
TEL:03-3504-4401 FAX:03-3592-7620  
URL: http://www.post.japanpost.jp/kifu/  
事務局受付時間  
土日祝日を除く、10:00～12:00および13:00～17:00

## 花王・みんなの森づくり活動助成

#### ●助成対象事業

・プロジェクト助成

緑を守り育てる活動(森づくりの活動)に取り組んでいる団体が行う森づくりの活動のプロジェクトに対して助成します。

・スタートアップ助成

新たに緑を守り育てる活動(森づくりの活動)に取り組もうとする団体の運営と森づくりの活動に対して助成します。

#### ●助成対象団体

国内で森づくりの活動に取り組んでいる団体。

#### ●助成額

上限100万円

#### ●応募受付期間

平成21年8月1日～平成21年10月31日

お問い合わせ先

(財)都市緑化基金内「花王・みんなの森づくり活動助成」係  
〒112-0014 東京都文京区関口1-23-6プラザ江戸川橋3F  
TEL 03-3235-8065 FAX 03-3235-8067  
http://www.urban-green.or.jp



●本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見等は、制作に生かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています。

### 石川県NPO活動支援センター

〒920-0962 金沢市広坂2-1-1

石川県広坂庁舎2号館4階

TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

URL http://www.ishikawa-npo.jp

E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp



石川県内でボランティア活動、NPO活動に参加し、活躍している学生のみなさんを紹介するコーナー『ジュニアVOICE』

第6回目となる今回は、ボランティアで保育園、小学校、中学校、高齢者福祉施設、障害者福祉施設などへ出張公演を行っている石川県立中島高等学校演劇コース、3年生北原 翔一郎君と演劇教育担当の酒井 藤雄先生にお話をうかがいました。

## 多くの人たちに喜んでもらいたい

### ボランティアで出張公演



▲養護学校の夏祭りでダンスを披露

— 中島高校の演劇コースの生徒さんがボランティアで保育園や小中学校、福祉施設などで劇やダンス、狂言、合唱を披露しているそうですね。

**酒井先生** ● はい、主催者の要望にあう演目を披露しています。

— どういう要望がありますか？

**酒井先生** ● 老人福祉施設でしたら、皆がよく知っている「西遊記」の劇だったり、保育園等では日本昔話の劇をしたり、観る人が楽しめる演目です。

— 北原君はボランティアで演劇などを公演するのは楽しいですか？

**北原君** ● はい、楽しいです。劇が終わって観てくれた人から「すごい面白かった！」と言ってもらったり、感謝の手紙が後々届いたりすると「やって良かった」と心から思います。

— つらかったことはどんなことですか？

**北原君** ● あまりつらいと感じないです。授業が終わって放課後、ボランティアで演じる劇の練習を仲間としますが、みんなで意見を言い合って演劇に打ち込むことは大変ですけど、公演が終わると良い思い出しか残らないです。すごく楽しかったです。



2006. 9. ▶ 老人福祉施設で「西遊記」を披露

**酒井先生** ● 公演先が小学校だったりすると集中していない小学生に担任の先生が「ちゃんと観なさい」と注意をしたりするんです。小学生くらいだと興味がなくても我慢して観る能力ができてくる頃なので先生も注意をしたくなるのでしょうか。私は「つまらなかったら生徒が寝ても、隣の人と話してもいいですよ。」とお伝えしています。つまらないという反応がダイレクトに演技者に伝わることも一つの経験であり、反省であり、勉強だと思うんです。

### 演劇と地域のきずな

— 公立高校で演劇コースというのは全国でも珍しいですね。

**酒井先生** ● そうですね、なので遠くから受験した生徒は家から通えない場合、学校近くに住む地域住民宅に下宿して通学しています。これは地元の協力で成り立っています。中島高校の生徒は中島駅の前の掃除をしたり、駅に花を寄付したりしています。地域と中島高校は切っても切れない絆があって、演劇コース3年生が能登演劇堂で卒業公演を実施する際も、650人入る演劇堂は毎年満員で100人の立ち見が出ます。

来年の3月で中島高校は廃校になりますが、演劇コースは七尾東雲高校演劇科に移り、この活動は継承されていきます。



▲中島駅前の花壇

石川県立中島高等学校  
北原 翔一郎君

【お問い合わせ】  
石川県立中島高等学校  
石川県七尾市中島町浜田イ部25-1  
TEL0767-66-0064  
FAX0767-66-1916

